

自然林保全事業

[620]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0101	実施計画
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	緑・水辺の保全	担当	市民生活部 産業課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)
 松、ナラ・カシ類(高度公益機能森林内)
 高度公益機能森林: 水源かん養機能、山地災害防止機能が高く、各種防除措置を実施して保全していく森林

意図(対象をどのような状態にしたいのか)
 高度公益機能森林内の松林などが保全されている。

手段(事務事業の内容、やり方、手順)
 尾張旭市森林整備計画に基づき、事業を実施する。実施に当たっては、毎年度、実施計画書を県に提出する。(県補助事業) 森林病虫害等防除
 <マツクイムシ対策>
 ・樹幹注入(実施時期: 11月~3月)
 健全な松に薬剤を注入することにより樹幹内へのセンチュウの侵入と増殖を防ぐ。
 ・伐倒駆除(実施時期: 11月~3月)
 被害木を伐倒・破砕することによりカミキリの幼虫及びセンチュウを駆除する。
 <カシノナガクイムシ対策>
 ・樹幹注入(実施時期: 4月~7月)
 健全木(ナラ・カシ類)にカシノナガクイムシが樹幹内に持ち込むナラ菌の繁殖を抑制する薬剤を注入することにより被害を事前に防止する。
 ・伐倒駆除(実施時期: 9月~3月)
 被害木(ナラ・カシ類)にくん蒸駆除薬剤を注入してカシノナガクイムシ及びナラ菌を殺虫殺菌し伐倒する。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	保全すべき松等本数	本			72	72
	樹幹注入による病虫害防除	本			15	8
成果指標	枯れた松等の本数	%			0	0
事業費 計			226	221	310	143
財源内訳		ア 国				
		イ 県	117	42	229	13
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	109	179	81	130

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	事業を継続することで森林病虫害の発生を抑制できている。
--------	--	-----------------------------

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	森林環境譲与税を新設し、充当事業等について検討します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

吉賀池木道改修工事に充当
 (行政経営課が森林環境譲与税に関する事務を実施することになった。)

吉賀池湿地保全事業

[623]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0102	実施計画
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	緑・水辺の保全	担当	市民生活部 産業課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	吉賀池湿地、市民	貴重な植物等が生息する吉賀池湿地を保全する。 <ul style="list-style-type: none"> ・吉賀池湿地の維持管理と植生調査等を委託 ・平成9年、19年度に設置した井戸の保守点検を実施 ・平成20年度に井戸の浚渫を実施 ・経年劣化している木道の修繕及び整備を実施 ・令和元年度から木道改修工事を実施(～令和3年度)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	市民に自然と触れ合う場を提供するため、一般公開を開催する。 <ul style="list-style-type: none"> ・毎年4月、6月、8月、9月、10月初め、10月末に開催 ・団体見学は随時募集 ・一般公開時のボランティアを募集(平成25年度～) ・一般公開時に寄付金を募集(平成26年度～)
	貴重な植物が生息する吉賀池湿地を保全し、市民が自然と触れ合う場を提供することにより自然環境保全の意識を高まっている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	一般公開及び自然観察会の開催数	回	15	15	14	16	
成果指標	来場者数	人	923	1,121	1,500	1,225	
事業費 計			1,076	3,212	5,590	5,480	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		43	27	139	185
		オ 一般		1,033	3,185	5,451	5,295

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 来場者数は昨年度実績と比べ9.3%向上している。 (原因) 一般公開日が雨天のため1回中止になったが、メディア等で取り上げられた影響で来場者数が増えた。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

河川水質の浄化推進事業

[617]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0103	実施計画
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	緑・水辺の保全	担当	市民生活部 環境課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市内の河川(矢田川、天神川)	生活排水対策を推進し、生活排水による水質の汚濁を防止するため、生活排水対策推進計画(計画期間H31~H40)を策定し、事業を実施。 3名の生活排水クリーン推進員の協力を得て、地域住民に生活排水対策についての情報を提供し水質保全につなげる。 河川の水質状況を把握するため、定期的に水質調査を実施する。 ・河川水質定点調査の実施(年5回/4地点) ・工場排水水質調査の実施(年2~3事業所/6~8項目)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	小学生を対象に「水生生物調査」を実施し、環境保全への理解促進と意識の高揚を図る。 市民を対象として環境の日に合わせて「流域モニタリング」の参加者を募集し、また市内小中学生を対象とした「水質パトロール隊」も併せて募集することで、河川等の環境に対する理解を図る。 ・市民を対象に生活排水対策についてのリーフレットを配布し、家庭でできる水質汚濁防止を啓発する。
	河川水質について現状が把握され、水質汚濁の防止が推進されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	調査項目検体数	検体	193	195	191	206
成果指標	BOD計画目標値の達成率	%	95	85	80	95
事業費 計			545	498	525	495
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	545	498	525

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) H30実績と比較すると10ポイント向上し、当初の目標を達成した。 (原因) H30では冬季に基準値より高い数値が複数地点で計測され達成率が悪化した。R元ではH29実績と同等まで回復した。 冬季は水温の低下に伴い浄化施設の処理能力が低下し数値が悪化する傾向があるとともに、検査の前に降雨が少ない場合も数値が悪化する傾向があり、H30はこれらの要因などが重なり数値が悪化していたものがR元は回復したためであると考えられる。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	改訂後の生活排水対策推進計画に基づいた事業を実施します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
下水道接続や合併浄化槽の普及促進をし、汚水処理人口普及率を上昇させることにより、河川の水質が向上した。			

保存樹等保全助成金

[622]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0104	実施計画	
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	緑・水辺の保全	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	保存樹等、樹木所有者	保存樹等に指定された樹木の所有者に対し、維持管理費の一部を助成する。 指定基準 申し出に対して随時審査・指定を行なう。 ・保存樹 樹木の1.5mの高さにおいて幹の周囲が1m以上のもの 樹木の高さが12m以上のもの ・保存樹林 樹木が集団的に育成し、その土地の面積が300㎡以上のもの 助成の額 ・保存樹1本当たり2,500円/年 ・保存樹林1地区当たり10,000円/年以内
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
保存樹等が適正に管理され保全されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	助成金の額	千円	68	68	68	68
成果指標	適正に管理されている保存樹等の割合	%	100	100	100	100
	新たに指定した保存樹・保存樹林の数	本	0	0	3	7
事業費 計			68	68	68	68
財源内訳	ア 国	千円				
	イ 県		22			22
	ウ 地方債					
	エ その他		45	67	68	45
	オ 一般		1	1		1

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) 保存樹等は適正に管理されており、7件の新規指定を実施した。 (原因) 助成制度の周知不足が要因と考えられ、更なる周知が必要。
--------	--	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	指定基準を満たすことが見込まれる樹木等を調査し、所有者に対して助成制度の周知を行います。		
実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	指定基準を満たすことが見込まれる樹木等を調査し、所有者に対して助成制度の案内を行うとともに、広報おわりあさひ等を活用し周知を図ります。		

エドヒガンザクラ保存事業

[1282]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0105	実施計画	
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	緑・水辺の保全	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	エドヒガンザクラ	平成26年9月議会で採択された、城山町地内に自生するエドヒガンザクラを保存するため、策定した保存計画に基づいて事業を進める。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	平成27年度 エドヒガンザクラ保存計画策定 平成28年度 境界測量、不動産鑑定評価 平成29年度 用地購入、実施設計 平成30～31年度 整備工事
	エドヒガンザクラが保存されている。また、エドヒガンザクラ周辺が、市民の憩いの場、安らぎの場として整備されている。	ふるさと納税制度も活用する。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	m ² 当たりの整備費用(整備費/対象面積)	千円	0	11	-	0	
成果指標	公園に満足している市民割合	%	26	26.8	-	25.0	
指標・事業費	事業費 計			81,177	34,855		
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県		25,259	10,000		
		ウ 地方債					
		エ その他					
オ 一般	55,918	24,855					

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定	(状況) 成果指標は1.8ポイント低下している。 (原因) 公園設置から30年以上経過している公園が多く、老朽化が進んでいることが原因と考えられる。
	【成果指標の状況】 低下	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	平成31年度中の事業完了に向け、事業の進捗を図ります。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-
	平成30年度に事業は完了している。		

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0201	実施計画
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	緑の創出と育成	担当	都市整備部 都市整備課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	自己用住宅取得者 生垣設置者 民有地の敷地等に緑化をする者	住宅取得記念樹事業 自己用住宅を取得した者にその記念として敷地内に植樹することに対してその経費の一部を助成する。 自己用住宅を取得したことが明らかな書類(建築確認検査済証、家屋登記簿、購入契約書等)の提示により記念樹引換券(2,000円分)を交付 生垣設置助成事業 準公共空間である公道に面している箇所、要件に適合した生垣を設置する者に対し、助成する。 ・新たに生垣を設置するとき1m当たり2,000円(限度額60,000円) ・ブロック塀から生垣に転換するとき1m当たり3,000円(限度額90,000円) 都市緑化推進事業 駐車場、壁面、屋上や宅地の緑化に対してその工事費の一部を補助する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	助成制度の周知については、市広報、ホームページへの記事掲載、税務課家屋調査時における制度の啓発により行っている。
	緑化の推進により、身の回りの緑が増えている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	生垣設置助成箇所数	件	0	1	7	0	
	住宅取得記念樹助成申請件数	件	146	133	200	109	
成果指標	助成を行なった生垣の延長	m	0	14	140	0	
	記念樹引換件数	件	118	122	200	109	
事業費 計			2,346	492	4,100	1,288	
財源内訳		ア 国					
		イ 県	千円	2,110	222	3,500	1,050
		ウ 地方債					
		エ その他		232	240	600	224
		オ 一般		4	30		14

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) 生垣設置助成の申請、記念樹引換ともに前年度を下回った。 (原因) 市広報、ホームページ掲載等により、助成制度の活用について啓発を行っているが、制度についての周知がまだ不足していることが原因であると考えられる。</p>
--------	--	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	助成制度の周知に取り組みます。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
市広報、ホームページ掲載等により助成制度について啓発を行った。			

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0202	実施計画	対象
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	緑の創出と育成	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>地域住民によるボランティアグループ シンボルロード、尾張旭・旭前・印場駅前広場 市民 公共施設(道路、公園、学校等)</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>ア プラワーホットの維持管理 緑の育成や環境美化に対する市民意識の高揚 家庭緑化推進 公共施設の緑化推進 適切な緑化行政を推進する体制の構築 緑あふれるまちづくりに要する費用への充当がされている</p>	<p>【都市計画マスタープラン掲載重点事業】 スポットガーデン維持管理 スポットガーデンの整備については、市と地域住民によるボランティアグループとの協働により行う。市は、花壇の築造、案内標識の設置、維持管理に必要な資機材の提供等を行い、ボランティアグループは、花壇の企画、維持管理などを適時行う。 花苗植替(消耗品費) フラワーポット設置箇所、1年を通して花が咲くように水やり等の維持管理を行う。また適時(春、秋)花のを植替えを実施する。 家庭緑化推進(消耗品費) 公共施設窓口及び各小学校にてひまわりの種を配布する。(7,000袋) 公共施設緑化(緑化推進事業植栽工事) 施設管理者と植樹計画について調整を行い、当該敷地内における植樹を実施する。 愛知県緑化推進委員会負担金 上記委員会へ加入し負担金の支払、各種研修の参加、緑化行政動向の把握をする。 緑化推進基金積立金 公共施設(市役所、公民館等)に募金箱を設置し寄付を募る。 基金の積立及び一部取崩しにより、緑化推進事業植栽工事等の事業へ充当する。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	公共施設における植樹本数	本	1,199	3,987	2,000	2,650	
	ボランティア活動報奨金	千円	461	432	470	376	
成果指標	公共施設の緑化推進事業箇所数	箇所	3	4	2	2	
	スポットガーデン総面積	m ²	149	135	150	116.4	
事業費 計			11,609	13,548	14,507	14,162	
財源内訳		ア 国					
		イ 県	千円	450	3,270		
		ウ 地方債					
		エ その他		4,120	8,432	14,420	13,100
		オ 一般		7,039	1,846	87	1,062

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) 公共施設の緑化事業箇所数、スポットガーデン総面積が減少した。 (原因) ボランティア団体等への継続した活動支援が必要。また、既存の団体の高齢化が進んでいるため、新たな団体を育成していく事も必要となってきた。</p>
--------	---	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

矢田川散歩道整備事業

[636]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0302	実施計画	対象
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	緑・水辺とふれあえる場づくり	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	矢田川河川敷、市民	<p>【都市計画マスタープラン掲載重点事業】</p> <p>市南部の緑の環境軸である矢田川河川敷に散策路を整備する。併せて植樹等により緑化を行う。</p> <p>平成16年度 基本計画策定(住民との協働)</p> <p>平成17年度 水辺協議会設立(地域住民、教育関係者等参加)、調査設計</p> <p>平成18年度～ 散歩道調査設計、意見交換会、整備工事</p> <p>平成30年度～ 自転車道整備基本設計、詳細設計、意見交換会、整備工事</p> <p>令和2年度～ 整備工事</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>市民が自然とふれあい、景観を楽しみながら散策できるようになっている。</p> <p>市民団体による自主的な維持管理などの活動を目指し、計画策定段階からワークショップを開催し、整備箇所についても協働により進める。やすらぎ歩道接続点から上流の散歩道延伸は愛知県の河川改修整備後に行う。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	矢田川散策路の整備延長(単年度)	m	0	429	0	0	
	ワークショップ等開催回数(ワークショップ、協議会、清掃作業、自然観察会など)	回	3	4	3	3	
成果指標	矢田川散策路事業進捗率	%			89	89	
事業費 計			701	8,516	3,000	2,750	
財源内訳		ア 国					
		イ 県		1,200	1,200	1,100	
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		701	7,316	1,800	1,650

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) 前年度に比べて市内の水辺空間を満足している市民割合は増加している。</p> <p>(原因) 矢田川散歩道の延伸による効果が一つの要因と考えられる。</p>
--------	--	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	自転車道の整備を進めます。		
実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	自転車道の整備に向けた実施設計、意見交換会を実施した。		

自然環境基礎調査事業

[1273]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0901	実施計画
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	簡易評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市域内の自然環境	平成27年3月に中間見直しを行った「尾張旭市環境基本計画(計画期間H19~H35)【中間見直し版】」に基づき生物多様性の保全に関する取り組みを効果的に押し進めていくため、市内の自然環境の分布や動植物の生息・生育状況に関する実態調査を行う。(法令の規定に基づく調査ではない。)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p><手順></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成12年度に実施した自然環境基礎調査の報告書を踏まえ、市内における既存の自然環境に係る調査資料等を収集整理する。 自然環境の保全活動を行う市民団体等へのヒアリング調査を行い、自然環境及び動植物の生育状況に関する時点修正を行う。 市内の自然環境の特性を表わす環境指標種及び特定外来種の選定及び調査地点を検討し、実態調査計画書を作成する。 実態調査計画書に基づき、季節ごとの調査を実施する。 市内のいきもの情報を市民に伝えるための「いきものマップ」を作成する。
	野生動植物の生息・生育場所が把握されている。 外来生物の生息・生育場所が把握されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	現地調査回数	回	0	0	2	0
成果指標						
事業費 計						
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) 成果指標については、H30実績と同様、0回となっている。</p> <p>(原因) 尾張旭市環境基本計画(計画期間H19~H35)の次期計画に向けた見直し時期との兼ね合いや、予算財源配分等の事情により、予算化及び事業実施に至っていないため。</p>
--------	--	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	生物多様性の保全に関する取組を効果的に推進するため、市内の自然環境の分布や動植物の生息・育成状況に関する実態調査の実施について検討します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
令和3年度及び令和4年度の2か年にわたり実施することを計画している。			

全国植樹祭推進事務

[1283]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0902	実施計画	対象
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 産業課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>第70回全国植樹祭参加者 愛知県、市民、小中学生、保育園児</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>・全国植樹祭の開催やPRを通じて、森林や緑に対する理解を深められている。 ・多くの市民が全国植樹祭に関わり、「全員参加のまちづくり」が推進されている。 ・全国植樹祭の開催を契機に、本市の魅力が発信されている。</p>	<p>【概要】 開催日：令和元年6月2日(日) 主催者：(公社)国土緑化推進機構及び愛知県 主要行事：天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、各種表彰、記念植樹など</p> <p>【スケジュール】 ・各小中学校において苗木のスクールステイ実施(平成28年秋～) ・全国植樹祭記念事業開催(平成29年～) ・第70回全国植樹祭開催(令和元年6月2日) ・第70回全国植樹祭尾張旭市サテライト会場設置(令和元年6月2日) ・親子植樹イベントの開催(令和元年6月9日) ・記念誌の作成(令和元年秋) ・保育園、小中学校への植樹祭で植樹した樹木の植樹(令和元年12月)</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	市記者クラブ加盟社等への情報発信回数	回	5	10	8	7	
	外部関係者との打合せ開催回数	回	14	18	6	10	
成果指標	新聞、雑誌等で報道された第70回全国植樹祭に関する記事の件数	件	6	27	40	44	
	緑が多く、自然に恵まれていることが本市の魅力・良い点であると思う市民の割合	%	61.1	62.8	63	64.6	
事業費 計			1,678	24,699	19,291	16,032	
財源内訳		ア 国					
		イ 県		5,000			
		ウ 地方債					
		エ その他		465	1,737	1,000	
		オ 一般		1,213	17,962	18,291	16,032

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 非常に順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 なし</p>	<p>(状況) 成果指標「新聞、雑誌等で報道された第70回全国植樹祭に関する記事の件数」については、H30年度実績と令和元年度実績を比較すると63.0%と向上している。 (原因) 天皇即位後初のイベントとなったことや天皇皇后両陛下が出席されたため、報道機関の注目も高まったものと考えられる。</p>
--------	---	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	<p>全国植樹祭招待者に対する市民参加のおもてなしを実施します。 全国植樹祭終了後も、全国植樹祭に向けた各種の取り組みが一過性のものとならないような事業を展開します。</p>		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	<p>多くの市民が街のいろんな場所で木や花が育てられる取組を検討した。</p>		